

11月号 No.145

社協だより

平成 29 年 11 月 1 日発行
社会福祉法人 三宅島社会福祉協議会
(東京都三宅島三宅村阿古 497)

TEL 04994-5-7051 (代表)

FAX 04994-5-7054

I P 5-3155



神着木曜サロンの様子 介護予防体操の他にトランプや坊主めくりなど様々なレクを行っています

赤い羽根共同募金にご協力下さい！

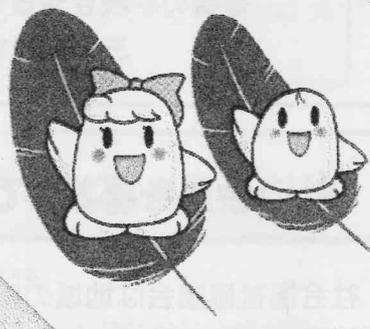
現在、三宅島社協では、島内の各商店にご協力いただきながら、赤い羽根共同募金運動を行っています。11月30日(木)まで募金箱を設置していますのでご協力をお願いします。

赤い羽根共同募金運動で集まりましたお金は、

- ・地域で孤立しがちな高齢者や子育て世代を対象としたサロン活動
- ・外出が難しい高齢者の方の通院送迎サービス
- ・防災訓練や災害対策活動

など地域が抱える社会的な課題の予防や解決を目的とした活動支援のために使われます。赤い羽根共同募金運動で集まった募金額のうち、7割を地域福祉に還元し、残りの3割は全都共通の福祉的課題や災害対策のための資金として用いられます。

皆さまのあたたかいお気持ちをお寄せください！



判断能力が低下した方の生活を支える成年後見制度ですが、判断能力が低下し裁判所によって後見人等を選んでもらう法定後見制度の他に判断能力が低下してしまうことに備えて後見人を付けてもらう任意後見制度という仕組みがあります。

任意後見制度とは？

「任意後見制度」は、あらかじめ契約を締結し選任しておいた任意後見人に将来認知症や精神障害等で判断能力が不十分になった時に支援を受ける制度です。契約は公正証書で行います。

法定後見では裁判所によって選任された後見人が財産の管理や医療契約、施設への入所などの身上に関する事務を行います。任意後見の場合は本人自らが選んだ代理人に身上に関する事務について公正証書の作成する公正証書で任意後見契約を結んでおくというものです。

契約後、家庭裁判所が選任する任意後見監督人の監督の下、任意後見人が本人の意思に従った適切な保護・支援を開始します。



成年後見制度利用者は増加傾向

平成12年からスタートした「成年後見制度」ですが、制度利用者数は年々増加しており平成22年には14万人だった制度利用者は平成28年には20万人以上になりました。

増加傾向にある背景として定期預金の満期・解約などについては金融機関の取扱いが厳格になったために、成年後見の申立をおこなっている様子がうかがえます。また、介護施設も入所にあたっては代理権限のある後見人等でないと契約を受けつけないところも増えてきています。「成年後見制度」の利用に関するご質問や相談などございましたら、三宅島社協までお気軽にご相談ください。

書類の手続きや日常的な金銭管理について不安なことなどございましたら、
三宅島社協 8-5883 (担当：柳川) までご相談ください！

社協会員を募集しています！

「誰もが住み慣れた地域で安心して
暮らせる福祉のまちづくり」を目指して

社会福祉協議会は地域の皆さまに支えられた民間の福祉団体です。住み慣れた地域の中で家族や友人、そして隣近所の人たちとより良い関係を築き、互いに支え合いながら生活を送ることは、安心して暮らせる街づくりの第一歩です。安心、安全な福祉のまちづくりを目指し、私たち社会福祉協議会は皆さま一人一人地域福祉の主演として、社会の風土や支え合いの仕組みを自ら築きあげられるよう支えていく大切な役割を担っています。

三宅島社会福祉協議会は、三宅村や東京都社会福祉協議会から受ける補助金や委託費を主な財源としていますが、この他にも寄付金や共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい募金）の配分金、そして皆さまからの会員会費などが財源となっています。行政の福祉施策とは違う住民主体の地域福祉が円滑に実施されるよう年間を通して皆さまに会員加入のお願いをしています。

家族について考える日「介護の日」「家族の日」



11月11日は「介護の日」です。近年では、高齢化が進み介護を必要としている方が増えています。親や配偶者など、家族の介護をする人も増えており、介護にまつわる課題は多様化しています。今、介護をしていない人も、いつか、家族の介護をする立場になったり、介護を受ける立場になったりするかもしれません。介護は誰にとっても身近な問題なのです。このように「介護の日」は、多くの人に、介護を身近なものとしてとらえてもらい、それぞれの立場で介護を考え、かかわってもらうことを目的に定められたものです。

また、11月の第3日曜日【今年は11月19日】は「家族の日」です。この日を中心とした前後各1週間【11月12日～25日】は「家族の週間」です。家族のことや地域のつながり、そして、子どもを育てていく大切さについて改めて考えてみる機会となっています。

誰もが安心して、結婚や出産、子育てができる社会を実現するためには、家族や地域、職場など、周囲の人たちの理解や協力、サポートが必要です。また、私たち一人一人が、子育てを支える家族と地域の力の大切さを再認識していくことも重要です。

家族の中では、子育てや家事を母親一人に負担させるのではなく、父親も子育てや家事に積極的にかかわっていく。職場では、従業員同士が理解・協力し合って、女性も男性も育児休業を取得しやすく、子育てしながら仕事を続けやすい環境・雰囲気を作っていく。また、地域では、近年、児童虐待や子どもの犯罪被害が増えている中で、子どもの安全を守り、安心して子どもを育てていくために、地域の人たちの協力と支援が必要となっています。このような地域の支えは、子供達の安全・安心を守ると共に、子供達の豊かな心を育む事にも繋がります。

皆さんも「介護の日」「家族の日」「家族の週間」をきっかけに、家族と地域の大切さについて、改めて考えてみませんか。また、家族との時間を増やすなど、家族の絆を深めてみてはいかがでしょうか。

職員紹介 『職員の発想を大事に！』 会長 寺本恒夫



今月号から職員紹介を載せたいという事を担当者から言われ OK を出したところ早速私に回ってきました。簡単に私の紹介をしたいと思います。昭和十年八月十日、群馬県の「キャベツ」で有名な嬭恋村で八人兄弟（男4・女4）の八番目として生まれました。兄弟たちの話だと、国民学校へ入るまでは大変大事に育てられたそうです。私が国民学校に入る頃から第二次世界大戦が激しくなり、兄が軍隊に取られ手が足りなくなり『大事に』という事はなかったとのことです。国民学校の時代は戦争一色、教室で机に向かって勉強をした記憶はあまりないですね。天気が良いと出征兵士の家の畑の草取りに駆り出される毎日でした。

新制中学校に入学して『あたらしい憲法のはなし』（文部省発行）という教科書を使って、社会科の先生が熱心に授業してくれたのが今でも心の中に強く残っています。この先生にはいろんな影響を受けました。私が読書好きなのも、そのひとつだと思います。高等学校を卒業して助教員として小串鉦山（硫黄鉦山）の小学校の教師になりました。十九歳の時でよくできたなーと思います。三年間勤め校長の勧めで大学に進学しました。昭和三十六年に坪田中学校に赴任し、三宅島が好きになり現在に至っています。現在社協の会長として心がけていることは『職員が働きやすい職場を！』『職員の発想を大事に！』ということです。

それは職員が村民と真正面から向き合って欲しいからです。今後ともよろしくお願いします。

今月のボランティア募集

随時募集を行っています！
お気軽にお問い合わせください！

【認知症・転倒予防のための阿古サロン】

日時：毎月第1・3 火曜日
9:30~11:45
場所：阿古福祉会館（旧阿古保育園）
活動内容：会場の設営・片づけ、参加者との
お話し相手など ※随時募集中
問合せ先：包括支援センター ☎ 6-1832（肥後）

【坪田常盤クラブ（月曜サロン）】

日時：毎週月曜日 9:00~11:30
場所：坪田福祉会館
活動内容：会場の設営・後片付け、参加者との
お話し相手、送迎・簡単な介助など
問合せ先：☎ 090-4541-9277（堀井）

【認知症・転倒予防のための伊豆サロン】

日時：毎月第2・4 水曜日
10:00~13:15
場所：伊豆老人福祉会館
活動内容：会場設営・後片付け、参加者との
お話し相手、送迎・簡単な介助など
※随時募集中
問合せ先：包括支援センター ☎ 6-1832（高橋）

【認知症・転倒予防のための木曜サロン】

日時：毎週木曜日 9:30~13:30
場所：神着老人福祉会館
活動内容：会場の設営・後片付け、参加者との
お話し相手、送迎・簡単な介助など
※随時募集中
問合せ先：めぐりケアセンター
☎ 090-2655-1529（前田）

ボランティア活動をする方は、事前にボランティア活動中における事故やケガなどを補償するボランティア保険への加入をお勧めします。島内でボランティア活動を希望している方、活動する方に対し、社協ではボランティア保険料の一部助成を行っております。（登録制）また、ボランティアを必要とする個人、団体などからの相談・受付をしております。ボランティア活動団体への助成金申請についてもご相談下さい。

【ボランティアに関する問い合わせ先】 ☎ 5-7051（担当：吹田）・Eメール mjshakyo@jeans.ocn.ne.jp

三宅島社協非常勤職員募集

三宅島社協では下記の通り、非常勤職員を募集しています。詳細につきましては、三宅島社協事務局 ☎ 5-7051（担当：齋藤）までお問い合わせください。

社会福祉協議会生活支援員

【主な業務】社協で運営している事業での利用者に対する生活支援
【勤務時間】概ね週3日程度 9時から15時の範囲（応相談）
【資格要件】普通自動車免許（必須）ヘルパー2級以上（あれば尚可）
福祉に関する業務経験者（あれば尚可）
【待遇】時給1,000円（交通費別途支給）

訪問介護員

【主な業務】
清掃・調理・入浴介助等訪問支援
【勤務時間】
8時30分~17時30分までの間
（曜日時間は応相談）
【資格要件】
ホームヘルパー2級以上・普通自免許
【待遇】
時給1,250円



地域福祉権利擁護事業生活支援員

【主な業務】福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理の支援、
手続き支援など
【勤務時間】月~金のうち2時間程（登録型勤務、曜日時間は応相談）
【資格要件】普通自免許 【待遇】時給1,000円（交通費別途支給）



地域の掲示板



“風のカフェ”（認知症等介護者のためのカフェ）

季節外れの台風にも、皆さんの生活も影響があったことと思います。ご苦勞をなされた皆さんに心からお見舞いを申し上げます。

10月の風のカフェでは、翌日に小中学校の運動会を控えたこともあり、それぞれの運動会の思い出がたくさん語られました。「島中の運動会では各地区ごとに、老若男女力を合わせてとても楽しかった」「運動会といえばお弁当が嬉しかった」などなどとても楽しい思い出として大いに盛り上がりました。たくさんの笑顔の時間を通じて、楽しくそしてやさしい時間がつくられました。



『風のカフェ』では、ご自宅で介護に向き合われている方や、これまで介護をご経験された方々のお越しをお待ちしています。また、介護を受けられているご家族の方も、一緒に参加できます。どうぞ一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

次回開催



11月11日(土) 9:00 ~ 11:30

(毎月1回：土曜日)次々回は12月9日(土)の開設を予定しています。

開設日は、村役場にご協力いただきIP告知端末でもご案内頂いております。そちらもご覧ください。

問合せ：5-1470 (みやけじま風の家)

5-0904 (三宅村役場福祉健康課 福祉係)

坪田地区ビーチクリーンクラブからのお知らせ！

～ 三池浜ビーチクリーンのご案内 ～

主催：坪田地区ビーチクリーンクラブ

日時：平成29年11月25日(土)

午前8時30分から1時間程度

集合場所：「三池園地」バス停前

※ 雨天の場合は中止です。

※ 軍手、ゴミ袋はクラブで用意いたします。



マイ・ストーリー

あなただけの物語、聞かせてください

第1回
寺澤峰さんの物語



坪田在住の寺澤峰さん

多くのひとに話し伝えることは

私にとっては生きること

昭和四年3人兄弟の末っ子として坪田で生まれた寺澤峰さん八十八歳。小さな頃は体が弱く、母が自分の事をとても心配して病院の為に学校を抜ける事がたくさんあったという。自宅から都道まで道が長く、その道を父が大八車を背負っていた姿を今でも思い出す事があるという。三宅島の学校を出てからは戦争のために三池や高校脇の防空壕堀を一心不乱にしていた。「防空壕を掘ったおかげで体力はついたね。」と。父親は敗戦するだろうし、東京からは食べ物が増えるから畑のある家に嫁ぎなさいと峰さんに言った二十二歳の時峰さんを心配していた母が亡くなった。母を亡くした翌年に峰さんは運命の相手と出会う事となる。三年前に他界された夫の良雄さんだ。

ある日「自分が心に決めたのは君だよ。」と言われ、私はこの人と一緒に生きていくんだと直感した。体が弱かったので、妊娠に不安があったが、結婚式の19日前に長女を出産した。出産は自分の誕生日の前日でこの子は母の生まれ変わりだと、そんな風に思えた。その後も長男、次男と出産することができ、今の幸せな自分を見れば母も安心してくれていると思う。三年前に良雄さんが息を引き取るその瞬間まで、一緒に会話していたという。「穏やかでとても良い人よ。亡くなる瞬間まで一緒にいさせてくれたね。でも、今が青春なのに、亡くなっちゃってね。もっと一緒に時間を過ごしたかったね。寂しいよ。」と良雄さんの事を語ってくれる峰さんはまさに「恋する乙女」だ。今の峰さんの夢は面倒見ていたお姑さんが92歳まで生きたので、92歳までは絶対に生きてお姑さんと同じ景色をみたい。と言った後、「最近思うんだけど92歳まではいけるかもしれない！」と笑顔を見せてくれた。もう一つの夢は娘さんからプレゼントされた「自分の本」を作る事だそう。その本にありったけの峰さんを詰め込んでほしい。

今月号より新コーナーが始まりました。このコーナーは高齢者の方々にスポットを当て、ロマンチックでハートフルな半生を語って頂きます。記念すべき第1回目の「マイ・ストーリー」を語って頂いたのは坪田在住の寺澤峰さんです。

急な取材のお願いにも関わらず、本当に快く取材を受けて頂きありがとうございました。とても感謝しています。普段から寺澤さんは優しく笑顔で私たちにも丁寧に接して下さる方です。寺澤さんのお話を聞かせて頂いて、穏やかでいられる秘訣を知る事ができたような気がしています。峰さん、これからも多くの方に峰さんのストーリー語ってあげてください。心にすっと染み込むストーリーと楽しい取材の時間、本当にありがとうございました。



Twitterはじめました!



みなさんフォローお願いします!

アカウント→@mjshakyo

三宅島社会福祉協議会



社協のホームページも公開しています!
是非ご覧ください。

編集後記

まず初めに今回、新コーナーを始めさせて頂いた、寺本会長、斉藤局長、早川主任に感謝致します。色々な事への「挑戦」に背中を押してくる上司がいる事を大変幸せに思っています。忙しい中、取材に同行してくださった早川主任、ありがとうございました。とてもスムーズに取材が行え、リラックステキな中、新コーナーを作る事ができました。本当にありがとうございました。

